



あひるぐみだより

2024年度 3月最終号

尚徳福祉会生麦保育園

春の訪れを、あちらこちらで感じられるようになってきました。保育者が「もうすぐりす組さん」と声をかけると「なにー?」「あひるさんだよ」と、まだまだ進級するという実感が沸いていない様子の子どもたちです。



お散歩だいすき

週に2回は散歩に行く子どもたち。最近ではヘビ公園や河川敷にも、足取り軽く行って帰ってくるができるようになりました。お散歩に行くことを子どもたちに知らせると「おさかなみにいく(河川敷)」「どんぐりいく(貝の浜公園)」と、子どもたちも行先をリクエストしてくれるようになりました。キリンビールは貨物列車を近くで見ることができたり、カモの親子が池を泳いだりしているので、子どもたちも楽しいようです。まだまだ遊びたくて、帰るのを渋り時間がかかってしまうこともあります。「また来ようね」という保育士の言葉に「うん」と納得してくれる子どもたちです。

朝のごあいさつ♪

朝おやつの後、みんなで朝のあいさつをする習慣が身についてきました。保育者が姿勢を正すと、子どもたちも真似をして「ぴっ」と可愛らしく背筋を伸ばしています。「おはようございます」と保育者がおじぎをすると、子どもたちもペコリ。出席確認では名前を呼ばれると「はーい!」と元気よくお返事をしてくれます。そのあとは子どもたちと一緒に一日の予定を簡単に共有しています。園庭遊びやお散歩前には非常階段の下の段差に座り、遊びの約束や気を付けてほしいこと(前を見て走る、玩具を持って走らない等)を伝えています。こちらが話している内容全ては分からなくても、目を見て話を聞こうとしてくれる姿が可愛いらしいです♪



この時期になると、書類や写真、動画などを4月から3月分までさかのぼり整理する機会が多くあります。今では自己主張が激しくなり、イヤイヤ期も色濃くなってきている子どもたちですが、入園当初はお母さんやお父さんの存在を求めて泣くことも多くありました。体も今より一回り小さく、歩き方もたどたどしかったことを覚えています。食事もほとんど手掴みで机の上はお皿がひっくり返り、食べながらほとんどの子が眠っていました(笑)それが今では食具を器用に使い、友だちや保育者と一緒に食べる楽しい雰囲気味わえるようになりました。キリンビールや花月総持寺駅まで、友だちと手を繋いで歩いてお散歩に行くことが出来るようにもなりました。本当にたくましく成長した一年だと感じます。

また、体や手先の成長だけではなく気持ちの面でも大きく成長しました。秋ごろから友だちの存在を強く意識し始め、困っている子がいると駆けよって保育者に知らせてくれたり、友だち同士がトラブルになっていると「だめよ」「ごめんねよ」と仲裁しようとしたり…気持ちの面での発達が特に大きく成長したと感じる一年でした。

戸外へ行く準備では「できない〜」「やって」と泣いて助けを求める姿もありましたが、まずは自分で「やってみる」ということを知らせて一緒に取り組みました。時にはもどかしく「手伝いたい」と手を差し伸べてしまいそうになることもありましたが、そこをグッとこらえて「自分でできるように」「自信に繋がるように」という気持ちで保育をしてきました。至らぬ点が多く、反省することも多くありましたが、いつもあたたかく見守ってくださり感謝の気持ちでいっぱいです。一年間ありがとうございました。来年度も園内で子どもたちや保護者のみなさまとお会いできるのを楽しみにしています!

☆3月24日(月)より、りす組での保育になります。荷物の移動などは3月21日までに担任がする予定です☆